

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2023年総目次(222～233号。全12号配信)

222号：2023.1.1 (19頁)

1. 論文：「イギリス型のかかりつけ医の登録制・人頭払い制導入はなぜありえないのか？」（「深層を読む・真相を解く」『日本医事新報』2022年12月3日号（5145号）：56-57頁）……………2頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算202回：2022年分その10：7論文）…5頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その216）—最近知った名言・警句……………10頁
4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第20回）…13頁

223号：2023.2.1 (28頁)

1. 短文：「敵を憎むな、判断が狂う」（『月刊保団連』2023年1月号（1388号）：7頁）……………2頁
2. 論文：複眼で読む医療・社会保障の未来と病院経営—悲観論を超えて（『病院』2023年1月号（82巻1号）：25-27頁）……………3頁
3. 論文：「全世代型社会保障構築会議報告書」の複眼的検討（「二木教授の医療時評（208）」『文化連情報』2023年2月号（539号）：28-34頁）……………7頁
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算203回：2022年分その11：7論文）…13頁
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その217）—最近知った名言・警句……………18頁
6. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第21回）…20頁

224号：2023.3.1 (22頁)

1. 論文：『日本医事新報社 100年のあゆみ』をどう読んだか？（「深層を読む・真相を解く（129）」『日本医事新報』2023年2月4日号（5154号）：66-67頁……………2頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算204回：2022年分その12：12論文）…5頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その218）—最近知った名言・警句……………13頁
4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介（第22回）……………15頁

225号：2023.4.1 (29頁)

1. 論文：日本医療の歴史と現実を踏まえたかかりつけ医機能の強化（「二木教授の医療時評（209）」『文化連情報』2023年4月号（541号）：32-44頁）…2頁
2. 投稿：No. 5154 「“かかりつけ医機能”のエビデンスは？」草場鉄周氏（日本プライマリ・ケア連合学会理事長）の論説に対して—紹介論文をエビデンスとするには無理がある（『日本医事新報』2023年2月18日号（5156号）：65頁。「識者の眼」に対する読者の声）…14頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算205回：2023年分その1：5論文）…15頁

4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その219) -最近知った名言・警句……………19頁
5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第23回) ……………21頁

226号: 2023.5.1 (8頁、添付ファイルを除く)

1. 論文: 今後の中小病院のあり方を改めて考える
(「二木教授の医療時評(210)」『文化連情報』2023年5月号(542号):24-27頁) ……2頁
 2. 推薦の辞-21世紀の病院・複合体経営の羅針盤:古城資久『病院経営者の心得とM & Aの実際』(経営書院,2023年4月) ……………6頁
 3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算206回:2023年分その2:9論文) …7頁
 4. 私の好きな名言・警句の紹介 (その220) -最近知った名言・警句……………14頁
 5. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第24回) ……………17頁
- 補足・インタビュー「民間中小病院は集約されるより分散している方が合理的である-今後の医療政策と病院経営の展望」(『国際医薬品情報』2023年2月27日号(1220号):26-31頁。PDFフィル添付)

227号: 2023.6.1 (8頁)

1. 論文:『安倍晋三回想録』を複眼的に読む
(「二木教授の医療時評(211)」『文化連情報』2023年6月号(543号):20-24頁) ……2頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算207回:2023年分その3:7論文) …6頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その221) -最近知った名言・警句……………11頁
4. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第25回) ……………13頁

228号: 2023.7.1 (8頁)

1. 講演録「地域共生社会の理念と現実、及び社会医学への期待」(『社会医学』40-1:39-48頁,2023年3月) ……………2頁
2. 講演要旨:日本医療の歴史と現実を踏まえたかかりつけ医機能の強化-半年間の論争を踏まえて(「神奈川県保険医新聞」2023年5月25日号3面) ……………12頁
3. 書評:藤島一郎・責任編集『はじめてのリハビリテーション臨床倫理 ポケットマニュアル』(『民医連医療』2023年7月号:59頁) ……………15頁
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算208回:2023年分その4:6論文) …16頁
5. 私の好きな名言・警句の紹介 (その222) -最近知った名言・警句……………21頁
6. 私が毎月読むかチェックした日本語の本・論文の紹介 (第26回) ……………23頁

229号: 2023.8.5 (8頁)

1. 論文:「骨太方針2023」等の少子化対策・こども政策と社会保障・医療制度企画方針を複眼的に読む
(「二木教授の医療時評(212)」『文化連情報』2023年8月号(545号):26-31頁) …2頁

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算209回:2023年分その5:8論文) …8頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その223) –最近知った名言・警句……………14頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介 (第27回) ……………16頁

番外：日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科で後期に開講する「医療・福祉経済論」の＜私的聴講＞のお知らせ……………
 …26頁。

230号：2023. 9. 5(23頁)

1. 論文：財務省は今後「かかりつけ医の制度化」を求めないと私が判断するのはなぜか？（「深層を読む・真相を解く（114）」『日本医事新報』2023年8月5日号（5180号）：54-55頁……………2頁。
2. 論文：『令和5年版厚生労働白書』をどう読んだか？（「二木教授の医療時評(213)」『文化連情報』2023年9月号（546号）：28-31頁）……………5頁
3. 発言：Made in Japanのリハビリテーションを貫いた石川誠さん（2023年8月20日 医療法人社団輝生会「石川誠の思い出を語る会」）……………9頁
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算210回:2023年分その6:8論文) …10頁
5. 私の好きな名言・警句の紹介 (その224) –最近知った名言・警句……………11頁
6. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介 (第28回) ……………15頁

231号：2023. 10. 1 (19頁)

1. 論文：私はイギリス医療の現地調査で何を学んだか？（「深層を読む・真相を解く（135）」『日本医事新報』2023年9月2日号（5184号）：54-55頁……………2頁。
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算211回:2023年分その7:7論文) …5頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その225) –最近知った名言・警句……………10頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介 (第29回) ……………11頁

232号：2023. 11. 5 (25頁)

1. 論文：私がイギリス・ドイツ・フランス医療の現地調査で学んだこと—診療所医師のコロナ対応を中心に（「二木教授の医療時評(214)」『文化連情報』2023年11月号（548号）：28-37頁）……………21頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文 (通算212回:2023年分その8:8論文) …12頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介 (その226) –最近知った名言・警句……………16頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介 (第30回) ……………17頁

233号：2023. 12. 5 (25頁+別ファイル2)

1. 論文：コロナ禍による国民の医療満足度の変化の検証—コロナ禍で日本の医療制度の根幹は揺らいだか？（「二木教授の医療時評(215)」『文化連情報』2023年12月号（549号）：20-25頁+表は別ファイル）……………2頁

2. 投稿：プライマリケア機能強化による医療費減少効果は諸外国でも明らかになっていませんー青木拓也氏論文へのコメント	8頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算213回:2023年分その9：6論文）	10頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その227）ー最近知った名言・警句	14頁
5. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第31回）	16頁
補. 「ニューズレター」2023年総目次（222～233号、全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き）（別ファイル：23二木NL目次.docx）	

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2023(222～233号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計84論文（累計1462論文）

※特集全体の紹介は1論文に換算

222号(2023.1)(通算223回)(2022年分その10:7論文)

○アメリカにおける認知症有病率の〔部分集団間の〕不平等の趨勢

Hudomiet P, et al: Trends in inequalities in the prevalence of dementia in the United States. PNAS(The Proceedings of the National Academy of Sciences) 119(46) e2212205119, November7, 2022 [量的研究]

○人口高齢化と医療財政：同じコインの両面〔医療支出と医療歳入〕を予測する方法

Cylus J, et al: Population ageing and health financing: A method for forecasting two sides of the same coin. Health Policy 126(12):1226-1232, 2022 [シミュレーション研究]

○〔調査開始時〕認知機能障害を有する〔が認知症ではない〕高齢アメリカ人の自己負担医療費と医療サービス利用〔の追跡調査〕：2008-2016年「健康・退職調査」の結果

Jenkins D, et al: Out-of-pocket health expenditures and health care services use among older Americans with cognitive impairment: Results from the 2008-2016 Health and Retirement Study. The Gerontologist 62(6):911-922, 2022 [量的研究]

○〔アメリカにおける〕オバマケアによる2014年のメディケイド〔の対象〕拡大が60-64歳の低所得成人の医療アクセスと健康状態に与えた影響：最初の6年間のエビデンス

Baten RBA, et al: Effects of the 2014 Affordable Care Act Medicaid expansion on health care access and health status of poor adults aged 60-64 years: Evidence from the first 6 years. The Gerontologist 62(6):923-930, 2022 [量的研究]

○高齢者のライフスタイルへの介入が「国際生活機能分類」の健康参加領域に与える効果：体系的文献レビューとメタアナリシス

O'Hoski S, et al: The effect of lifestyle interventions on the International Classification of Functioning, Disability and Health Participation Domain in older adults: A systematic review and meta-analysis. The Gerontologist 62(6):e304-316, 2022 [量的研究]

○ヨーロッパ諸国はCOVID-19の流行を予防するために何をしたか？COVID-19医療制度対応モニターからの教訓

Rajan S, et al: What have European countries done to prevent the spread of COVID-19? Lessons from the COVID-19 Health system response monitor. Health Policy 126(5):355-361, 2022[政策研究]

○高所得国における医療制度へのショックに対する医療制度のレジリエンスを評価するのに用いられるメトリックスとインディケーター：体系的文献レビュー

Fleming P, et al: Metrics and indicators used to assess health system resilience in response to shocks to health systems in high income countries - A systematic review

iew. Health Policy 126(12):1195-1205, 2022 [文献レビュー]

223号(2023.2)(通算202回)(2022年分その11:7論文)

<アメリカの小規模医療グループ及び地方病院の閉鎖の経済的影響(4論文)>

○大きいことは良いことか? アメリカの小規模医療グループの精査

Is bigger better? A closer look at small health systems in the United States. Medical Care 60(7):504-511, 2022 [量的研究]

○アメリカにおける地方(郡部)の病院の閉鎖前後の[当該地域の]経済的アウトカムの変化: 差の差法分析

Chatterjee P, et al: Changes in economic outcomes before and after rural hospital closures in the United States: A difference-in-difference study. Health Services Research 57(5):1020-1028, 2022 [量的研究]

○ [アメリカの] 地方(非都市郡)の病院の経済的影響

Malone TL, et al: The economic effects of rural hospital closures. Health Services Research 57(3):614-623, 2022 [量的研究]

○ [アメリ・テキサス州における] 地方(郡部)の病院の閉鎖 民間医療加入者の[医療]利用と医療費への影響

Andreyeva E, et al: Rural hospital closures Effects on utilization and medical spending among commercially insured individuals. Medical Care 60(6):437-443, 2022 [量的研究]

<その他>

○ [スウェーデンにおける] 病院病床削減の健康コスト

Siverskog J, et al: The health cost of reducing hospital bed capacity. Social Science & Medicine 313(2022)115399, 9 pages [量的研究]

○ 緊縮財政は高所得諸国における死亡率改善鈍化の原因か? パネル分析

McCartney G, et al: Is austerity a cause of slower improvements in mortality in high-income countries? A panel analysis. Social Science & Medicine 313(2022)115397, 8 pages [国際比較研究・量的研究]

○ 身体障害を持つ成人の外來リハビリテーションサービスの待ち時間を減らす戦略: 体系的文献レビュー

Dupuis f, et al: Strategies to reduce waiting times in outpatient rehabilitation services for adults with physical disabilities: A systematic literature review. Journal of Health Services Research & Policy 27(2):157-167, 2022 [文献レビュー]

224号(2023.3)(通算204回)(2022年分その12:12論文)

○ [アメリカの] 個々のプライマリケア医への業績に基づくインセンティブ支払い方式のスコアとプロセス・患者アウトカム尺度[のパフォーマンス]との関連

Bond AM, et al: Association between individual primary care physician Merit-based

Incentive Payment System score and measures of process and patient outcomes. JAMA 328(21):2136-2146, 2022 [量的研究]

○ **【イギリスの】家庭医の経済的インセンティブ【質に応じた支払い】下での目標値の厳格化への対応**

Wilding A, et al: Family doctor responses to change in stringency under financial incentives. Journal of Health Economics 85(2022)102651, 17 pages [量的研究]

○ **病院・医師統合の病院医療費に与える影響**

McCarthy S, et al: The effects of hospital-physician integration on hospital costs. Health Economics 31(11):2333-2368, 2022 [量的研究]

○ **【ポルトガルの】病院におけるフォーマルなボランティア活動の課題**

Tavares S, et al: The challenges of formal volunteering in hospitals. Health Services Management Review 35(2):114-126, 2022 [質的研究]

○ **医療制度における不正行為：EU加盟28か国の2013-2019年の【患者から医療提供者への法定自己負担以外の】インフォーマルな支払いの趨勢**

Dallera G, et al: Corruption in health care systems: Trends in informal payments across twenty-eight EU countries, 2013-2019 [量的研究・国際比較研究]

○ **医療【従事者の】ストライキが患者死亡率に与える影響：観察研究の体系的文献レビューとメタアナリシス**

Essex R, et al: The impact of health care strikes on patient mortality: A systematic review and meta-analysis of observational studies. Health Services Research 57(6):1218-1234, 2022 [文献レビュー]

○ **【アメリカにおける】認知症と診断された【高齢】患者の急性期【病院退院】後ケアのアウトカム在宅ケア群とスキルド・ナーシング施設群【の比較】**

Burke R, et al: Postacute care outcomes in home health or skilled nursing facilities in patients with a diagnosis of dementia. Health Services Research 57(3):497-504, 2022 [量的研究]

○ **長期ケア保険の経済面と健康面の影響：韓国発の新しいエビデンス**

Kim H, et al: The economic and health effects of long-term care insurance: New evidence from Korea. The Journal of the Economics of Ageing 23(2022)100412, 18 pages [量的研究]

<バーンアウト関連：4論文>

○ **パンデミックと医師の精神影響への影響：体系的文献レビュー**

Peck JA, et al: Pandemics and the impact on physician mental health: A systematic review. Medical Care Research and Review 79(6):772-788, 2022 [文献レビュー]

○ **公衆衛生と医療部門のパンデミックにおける危機のリーダーシップ【危機管理】：医学及び経営文献のレビュー**

Sriharan A, et al: Public health and health sector crisis leadership during pandemics: A review of medical and business literature. Medical Care Research and Review 79(4):475-486, 2022 [文献レビュー]

○ **アメリカの医療提供組織のCEOとそれ以外の管理者の専門職満足感とバーンアウトを評価**

する

Shanafelt T, et al: Assessing professional fulfillment and burnout among CEOs and other healthcare administrative leaders in the United States. *Journal of Healthcare Management* 67(5):317-338, 2022 [量的研究]

○ **【アメリカ医療における】専門職の行動と価値規範の浸食：医師と電子医療記録の質的調査**

Skeff KM, et al: Professional behavior and value erosion: A qualitative study of physicians and electronic health record. *Journal of Healthcare Management* 67(5):339-352, 2022 [質的研究（グラウンデッドセオリー（GTA）とアクションリサーチ）]

225号(2023.4)(通算205回)(2023年分その1:5論文)

○ **「【イギリスの】GPはもうあなたを診ない NHS問題の修復はGP問題の修復を意味する」**

General practitioners. The doctor won't see you now. Fixing the problems of the NHS means fixing the problems of GPs. *The Economist* January 14th, 2023, pp.12, 50-52 [レポート]

○ **「ポストコロナ問題－【高所得国における】医療崩壊」**

Post-covid problems The health-care collapse. *The Economist* Jan 21st, 2013, pp.60-62 [レポート]

○ **「2022年【アメリカ連邦議会中間】選挙の結果が医療政策に与える意味」**

Blendon RJ, et al: (Special report) The implications of the 2022 election outcomes for health policy. *NEJM* 388(5):470-475, 2023 [評論]

○ **【一人前の】医師のように働く：高所得14か国におけるレジデント医師の労働時間規制の国際比較**

Breuer PM, et al: Work like a Doc: A comparison of regulations on residents' working hours in 14 high-income countries. *Health Policy* 130(2023)104753, 9 pages [国際比較研究]

○ **エストニアにおけるプライマリヘルスケア改革の30年：多専門職プライマリヘルスケア制度を実現するための経済的インセンティブの役割**

Habicht T, et al: 30 years of primary health care reforms in Estonia: The role of financial incentives to achieve a multidisciplinary primary health care system. *Health Policy* 130(2023):104710, 7 pages [医療政策の事例研究]

226号(2023.5)(通算206回)(2023年分その2:9論文)

○ **ドイツにはなぜそんなに多くの病院病床があるのか？**

Brunn M, et al: Why are so many hospital beds in Germany? *Health Service Management Research* 36(1):75-81, 2023 [医療政策研究]

○ **【アメリカの】メディケイド・マネジドケアにおける健康の社会的制御要因介入**

への投資を増やすイノベティブな債権を提案する

Karaca-Mandic: Proposing an innovative bond to increase investment in social drivers of health interventions in Medicaid managed care. *Health Affairs* 42(3):383-391, 2023 [政策研究]

○異なった種類のNHS費用が健康に与える影響：イングランドの2016/2017年度のQALY当たり限界費用の推計

Martin S, et al: The impact of different types of NHS expenditure on health: Marginal cost per QALY estimates for England for 2016/17. *Health Policy* 132(2023)10480-9 pages [量的研究]

<コロナ関連(6論文)>

○プライマリケアの特性がコロナ・パンデミック中の入院に与えた影響：日本での前向きコホート研究

Aoki T (青木拓也), et al: Impact of primary care attributes on hospitalization during the COVID-19 pandemic: A nationwide prospective cohort study in Japan. *Annals of Family Medicine* 21(1):27-32, 2023 (要旨は、m3.com医療維新 2023年2月24日、「かかりつけ医機能高いほど入院リスク減、慈恵医大等の研究」 [量的研究])

○医療制度のレジリエンス：アフター・コロナのレジリエンスを再訪する時期が来た？

Paschoalotto MAC, et al: Health systems resilience: Is it time to revisit resilience after COVID-19? *Health Policy* 320(2023)115716, 9 pages [国際比較・理論研究]

○オランダにおけるコロナ・パンデミック中の待機的手術の延期が健康に与えた影響を推定する

Oosterhoff M, et al: Estimating the health impact of delayed elective care during the COVID-19 pandemic in the Netherlands. *Social Science and Medicine* 320(2023)115658, 10 pages [量的研究]

○韓国におけるコロナに関連した犠牲者非難の特徴

Chung J-B, et al: Characteristics of victim blaming related COVID-19 in South Korea. *Social Science and Medicine* 320(2023)115668, 10 pages [量的研究]

○【アメリカの】州・地方【政府】の公衆衛生【部門】被用者の大脱出：離職はコロナ感染前から始まりその後も続いた

Leider JP, et al: The exodus of State and local public health employees: Separations started before and continued throughout COVID-19. *Health Affairs* 42(3):338-348, 2023 [量的研究]

○障害を持つ人々とコロナ・パンデミック中の医療へのアクセス アメリカでのポピュレーションベースの研究

Xie Z, et al: People with functional disability and access to health care during the COVID-19 pandemic: A US population-based study. *Medical Care* 61(2):58-66, 2023 [量的研究]

227号(2023.6)(通算 207回)(2023年分その3:7論文)

○医療財政面の連帯に対する市民の支持はオランダで経年的に変化しているか？反復横断面調査

Meijer MA, et al: Has public support for solidarity in healthcare finance in the Netherlands changed over time? A repeated cross-sectional study. Health Policy 131 (2023)104762, 11 pages [量的研究]

○ [アメリカのメディケアにおける死亡前6か月間の] 終末期医療費の上昇：終末期における潜在的に無駄な医療費の新しい尺度

Zhang Y, et al: Elevated end-of-life spending: A new measure of potentially wasteful health care spending at the end of life. Health Services Research 58(1):186-194, 2023 [量的研究]

○ [アメリカのメディケアの] 評価・マネジメント [料] の支払い方式変更と、メディケアの [プライマリケア等の] 診療科別医師支払いとの関連

Neprash HT, et al: Association of evaluation and management payment policy changes with Medicare payment to physicians by specialty. JAMA 329(8):662-669, 2023 [量的研究]

○ [アメリカのメディケアの下肢] 関節置換術の包括医療モデルの効果は手術数と医療費でどのように異なるか？

Ko H, et al: How does the effect of the Comprehensive Care for Joint Replacement Model vary based on surgical volume and costs of care? Medical Care 61(1):20-26, 2023 [量的研究]

○医師ランク付けウェブサイトの信頼性：体系的文献レビュー

Guetz B, et al: The credibility of physician rating websites: A systematic Literature Review Health Policy 132(2023)104821, 13 pages [文献レビュー]

○病院の質尺度の情報公開は [病院の] 全体的質改善をもたらさない：ドイツで得られたエビデンス

Bayindir EE, et al: Public reporting of hospital quality measures has not led to overall quality improvement: Evidence from Germany. Health Affairs 42(4):566-574, 2023 [量的研究]

○ [アメリカでは] コロナ禍中のビデオ・テレメディスン経験は肯定的だが、 [プライマリケア] 医師・患者とも今後は対面診療を好んでいる

Steelfisher GK, et al: Video telemedicine experiences in COVID-19 were positive, but physicians and patients prefer in-person care for the future. Health Affairs 42(4):575-584, 2023 [量的研究]

228号(2023.7)(通算208回)(2023年分その4:6論文)

○『世界の社会的処方 異なる医療制度の文脈での社会的処方のグローバルな発展の世界地図』

Global Social Prescribing Alliance, et al (Khan & Giurca et al): Social Prescribing Around the World A World Map of Global Developments in Social Prescribing Across

Different Health System Context. National Academy for Social Prescribing, 2023
(パンフレット,56ページ。ウェブ上に全文公開) [国際比較研究]

○公的医療サービスにおける慈善の位置：イングランドのNHSトラストへの慈善的支援の不平等と持続性

Bowles J, et al: The place of charity in a public health services: Inequality and persistence in charitable support for NHS trusts in England. Social Science and Medicine 322(2023)115805, 9 pages [量的研究]

○ドイツの病院計画への質指標の導入－結果は質の改善を示しているか？

Klein S, et al: Introduction of quality indicators in German hospital capacity planning -Do results show an improvement? Health Policy 133(2023)104830[量的研究]

○医師の診察料と追加的料金の空間的依存性：フランスのエビデンス

Montmartin B, et al: Spatial dependence in physicians' prices and additional fees: Evidence from France. Journal of Health Economics 88(2023)102724, 24 pages [量的研究]

○デンマークでの[病院の]救急部門の全国的再編成前後の再入院トレンド

Bogh SB, et al: Readmission trends before and after a national reconfiguration of emergency departments in Denmark. Journal of Health Services Research & Policy 28(1):42-49, 2023 [量的研究]

○公的医療保障が支配的な国 [イタリア] の私的医療保険利用の地理的バラツキ

Gavazza M, et al: Geographical variation in the use of private health insurance in a predominantly publicly-funded system. Health Policy 130(2023)104720, 8 pages[量的研究]

229号(2023.8)(通算209回)(2023年分その5:8論文)

○健康の営利的要因のCOVID-19パンデミックへの影響を描写する：16か国の事例研究の主題分析

Freeman T, et al: Illustrating the impact of commercial determinants of health on the global COVID-19 pandemic: Thematic analysis of 16 country case studies. Health Policy (August 2023)104860, 11 pages [国際比較研究]

○ [アメリカで] 共和党員は [民主党員より] たくさんコロナで死んでいる：我々はなぜそれを気にするか

Morabia A: Republicans die more from COVID-19: Why we care. American Journal of Public Health 113(4):349, 2023 [評論 (巻頭言)]

○ [アメリカの小児科プライマリケア] 医師の勤務時間外の電子医療記録記載の光と影の両面についての質的研究

Attipoe S, et al: A qualitative study of the dark and bright sides of physicians' electronic health record work outside work hours. Health Care Management Review 48(2):140-149, 2023 [質的研究]

○堅固なチームワークを支える－技術と組織科学を架橋する

Mayo AT, et al: Supporting robust team work - Bridging technology and organization

al science. NEJM 388(22):2019-2021, 2023 [評論]

○カナダでの複雑なニーズを持ち医療サービスを頻回利用する患者のための、プライマリケア診療所と病院との統合ケース・マネジメント：複数の症例を埋め込んだ研究

Hudon C, et al: Integrated case management between primary care clinics and hospitals for people with complex needs who frequently use healthcare services in Canada: A multiple-case embedded study. Health Policy 132(June 2023)104804, 8 pages [混合研究法]

○ [アメリカの] プライマリケア提供者は償還額削減にどう反応したか？ [メディケア・] プライマリケア・インセンティブ・プログラム廃止から得られたエビデンス

Brunt CS: How do primary care providers respond to reimbursement cuts? Evidence from the termination of the Primary Care Incentive Program. Medical Care Research & Review 80(3):303-317, 2023 [量的研究]

○ [アメリカの] リテイル診療所のプライマリケアの潜在的破壊者としての成長

Barnes H, et al: Retail health clinic growth as a potential primary care disrupter. Medical Care Research and Review 80(3):328-222, 2023 [量的研究]

○ウォルマートの医師が今すぐあなたを診察しますーなぜ大企業はプライマリケアに機会を見出すのか？

Doctor Walmart will see you now Why big companies see opportunity in primary care. The Economist June 24th:51-52, 2023 [レポート]

230号(2023.9)(通算210回)(2023年分その6:5論文)

○プライベート・エクイティ [・ファンド] によるアメリカ医療の略奪：過小評価され規制もされていない災難

Geymn J: Private equity looting of U.S. health care: An under-recognized and uncontrolled scourge. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 53(2): 233-238, 2023 [評論]

○ [アメリカにおける] プライベート・エクイティに買収された診療所と買収さなかった診療所の労働力構成 [の変化]

Bruch JD, et al: Workforce composition in private equity-acquired versus non-private equity-acquired physician practice. Health Affairs 42(1):121-129, 2023 [量的研究]

○一般医の活動パターン：フランスにおけるプライマリケア・チームの中期的影響

Cassou M, et al: General practitioners activity patterns: the medium-term impacts of primary care teams in France. Health Policy 136(2023), 104868 [量的研究]

○プライマリケアにおける医師退出の影響： [スイスにおける] 診療引き継ぎの研究

HJalmarrson L, et al: The impact of physician exits in primary care: A study of practice handovers. Health Policy 135(2023) 104867, 8 pages [量的研究]

○アメリカのナーシングホーム閉鎖が地域の雇用に与える影響

Lilli Xu MS, et al: The effect of nursing home closure on local employment in the United States. Health Services Research 58(3):744-752, 2023 [量的研究]

231号(2023.10)(通算211回)(2023年分その7:7論文)

○スウェーデンの70歳以上の人々の2018-2020年の終末期軌道のバラツキ

Ebeling M, et al: Variation in end-of-life trajectories in persons aged 70 years and older, Sweden, 2018-2020. *AJPH* 113(7):768-794, 2023[量的研究]

【補足】

Teraoka, E., Kunisawa, S. & Imanaka, Y. Trajectories of end-of-life medical and long-term care expenditures for older adults in Japan: retrospective longitudinal study using a large-scale linked database of medical and long-term care claims. [日本の高齢者の終末期の医療費と長期ケア費用の軌道] /*BMC Geriatr* 21, 403 (2021). <https://doi.org/10.1186/s12877-021-02215-9> <<https://doi.org/10.1186/s12877-021-02215-9>> (open access)

○ [スペインで] 健康状態が悪化しつつより長く生きる：高齢者の医療費を引き上げる諸要因

Maynou L, et al: Living longer in declining health: Factors driving health care costs among older people. *Social Science & Medicine* 327(2023)115955, 16 pages [量的研究]

○ [アメリカでの] 情報 [提供] とナッジのアドバンス・ディレクティブと終末期計画に対する役割：ランダム化試験から得られたエビデンス

Hong N, et al: The role of information and nudges on advance directives and end-of-life planning: Evidence from a randomized trial. *Medical Care Research and Review*

○台湾の国民医療保険制度における自己負担医療費の所得関連不平等：[OECD]「保健計算体系」(A System of Health Account)に基づいた国際比較推計

Pu C, et al: Income-related inequality in out-of-pocket health-care expenditures under Taiwan's national health insurance system: A international comparable estimation based on A System of Health Accounts. *Social Science & Medicine* 326(2023)115920, 7 pages[量的研究・国際比較研究]

○韓国は国民健康保険の目標を達成したか？2011～2018年の [破局的医療費からの] 家計の経済的保護の趨勢

Kim S, et al: Has South Korea achieved the goals of national health insurance? Trends in financial protection of households between 2011 and 2018. *Social Science & Medicine* 326(2023)115929, 10 pages [量的研究・政策評価研究]

【補足】金道勲「2023年の韓国政府における医療・福祉の政策変化」（日中韓における少子高齢化の実態と対応に関する研究 令和4年度総括・分担研究報告書。厚生労働行政推進調査事業費補助金）」ウェブ上に公開)

○韓国のCovid-19対応の成功はなぜ色あせつつあるのか？

Hong SY, et al: Why is success of South Korea's Covid-19 response fading? *International Journal of Social Determinants of Health and Health Services* 53(3):323-220, 2023 [政策研究]

○官僚的行政から [集権的で] 効果的な介入へ：Covid-19ウイルス [感染パンデミック] に

対する [2020年] 初期の東アジアと西欧の医療制度における政府対応の比較

Liu Y, et al: From bureaucratic administration to effective intervention: Comparing early governmental responses to the Covid-19 virus across East Asian and western health systems. Health Services Management Research 36(3):193-20, 2023 [国際比較研究]

232号(2023.11)(通算212回)(2023年分その8:5論文)

※今号では社会医学的研究・評論をまとめて紹介します。

○異なった福祉国家 [レジーム] における非正規労働者の不安経験：質的国際比較研究

Bosmans K, et al: Experiences of insecurity among non-standard workers across welfare states: A qualitative cross-country study. Social Science & Medicine 327(2023) 115970, 9 pages [質的研究・国際比較研究]

○ [アメリカの] 中年労働者における低時給歴と全死因死亡率 [との関連]

Kezios KL, et al: History of low hourly wage and all-cause mortality among middle-aged workers. JAMA 329(7):561-573, 2023 [量的研究]

○ [アメリカの] 立ち後れ：アメリカと他国との平均寿命格差は1933～2021年に拡大し続けている

Woolf SH: Falling behind: The growing gap in life expectancy between the United States and other countries, 1933-2021. AJPH 113(9):970-980, 2023 [国際比較研究]

○ [アメリカにおける] 無料・慈善診療所の重要性の再発見

Hall MA: Rediscovering the importance of free and charitable clinics. NEJM 389(7):585-587, 2023 [評論]

○健康の社会的要因の分析枠組みを採用し歪めようとする [アメリカ] 企業の企て

Himmelstein DU, Woolhandler S: Corporate efforts to adopt and distort the social determinants of health framework. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 53(3):249-252, 2023 [評論]

233号(2023.12)(通算213回)(2023年分その9:6論文)

○COVID-19パンデミックがアメリカの病院に与えた初期の財政的影響

Li K, et al: Early financial impact of the COVID-19 pandemic on U.S. hospitals. Journal of Healthcare Management 68(4):268-283, 2023 [量的研究]

○「企業集中 実に巨大な医療 [企業] 誰がアメリカの不可解な医療制度から最も利益を得ているか？」

Corporate concentration Really big health Who profits most from America's baffling health-care system? The Economist October 14th:53-55 (紙版), 2023 [レポート]

○ [入院医療費の] 包括払いは医療の質に影響するか？体系的文献レビュー

Pott C, et al: Does prospective payment influence quality of care? A systematic review of the literature. Social Science & Medicine 323(2023)115812 [文献レビュー]

○ [アメリカの] 営利病院の相対的生産性：たいしたことかそうでもないか？

Sloan FA, et al: Relative productivity of for-profit hospitals: A big deal or a li

title deal? Medical Care Research and Review 80(4):355-371, 2023 [総説・文献レビュー]

○アクティビティ基準の支払いとックインセンティブへの病院の反応：アイルランドからのエビデンス

Valentelyte G, et al: Hospital response to activity-based funding and price incentives: Evidence from Ireland. Health Policy 137(2023)104915 [量的研究]

○ [デンマークでのGP（一般医）対象の出来高払いと人頭払いの] 混合支払方式における人頭払いの増加： [GPによる] サービス提供と医療プロセスの質への影響

Skovsgaard CV, et al: Increasing capitation in mixed remuneration schemes: Effects on service provision and process quality of care. Health Economics 32(11):2477-2498, 2023 [量的研究]

「私の好きな名言・警句の紹介」2023年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフ、雑誌の無署名・ペンネーム記事はその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

岩井克人 (222, 233), 内田樹(223), エンゲルス(223=131), 梅棹忠夫(223=79), 池上彰(223), , 池松壮晃(224), 井形昭弘(225), 上田敏(225), 大塚義治(226=117, 176), 池井優(226), 石井寛治(227), 大村文子(228=146), 内田舞(229), 伊関友伸(230), 井上ひさし・井上麻矢(231), 梅原猛(233), 池谷裕二(233), 岩尾俊平(233), 安藤大介(233)

か行

小宮隆太郎(222), 城守国斗(222), 「クレヨンしんちゃん」のお父さん(223=51), 小宮一慶(224=58), 黒柳徹子(224), 香西秀信(226), グラムシ(226=5, 79), 小谷野敦(226), 加藤陽子(227), 倉山満(227), 郷ひろみ(230), 近藤克則(231), 草薙剛(231), 「旧新聞倫理綱領」(233), 権丈善一(233)

さ行

櫻井翔(223), セネカ(225), 佐高信(225=19), 杉本昌隆(225), 佐藤幹夫(225=191), 杉田敦(227), 斎藤兆史(227), 島田豊(228=52), 杉下茂(228), 坂本龍一(230), 佐藤郁哉(231), 住吉政美(231), 杉山修一(232), 白川静(233)

た行

立川談四楼(222), 鶴見俊輔(223), 貴景勝(224), 戸田奈津子(224), タモリ(224), 寺島実郎(224), チョムスキー, N(226), 高橋伸夫(227), ディラン, B(228), 立花隆(228=170), 武谷三男(229), トウエイン, M(229), 照ノ富士(229), トゥーリッシュュ, D(231), 田中優子(232)

な行

仲田泰祐(222), 錦富士(222), 野口悠紀雄(224), 夏川草介(225), 仲代達矢(226), 永江朗(228), 二階俊博(230), 中北浩爾(231), 中谷祐貴子(232)

は行

星マリナ・星新一(222), ホランド, W(223), 半藤一利(223), ブレマー, I(224), 橋本洋一郎(225), 芳賀徹(226), バリモア, J(226), 長谷部恭男(227), 樋口陽一(227), フクヤマ, F(227), バラカン, P(228), フィリップス, B(228), ハーフオード, T(229), ファインマン, R(229), 邊見公雄(229), 藤井克徳(229), 堀田正則(229), 橋本五郎(231), フェックス, VR(231)

ま行

村田兆治 (222), 百瀬孝 (222), 松田晋哉 (223, 225), 丸山博 (224=6), 門間一夫 (224), 箕原俊洋 (226), 「マーシャル博士の恐竜ランド」 (226=64), 松下圭一 (227), マッツカード, M (227), 藻谷浩介 (228), マクファデン, J (228), マーク・トウェイン (229), 森村誠一 (230, 230=81), 村井良大 (231)

や行

吉永小百合 (223, 224), 山岡淳一郎 (224), 吉田恵里子 (227), 与良正男 (233)

ら行

レヴィナス, E (223), ラサール石井 (223)

わ行

若元春 (223)